



# 「オリンピックと松江」

今年4年に一度の夏季オリンピックが、ブラジルのリオデジャネイロで8月開催されます。松江出身の選手が出場することになればうれしいものです。テニスで錦織圭選手の活躍が期待されていることはご承知でしょうが、彼を除くと最近の松江出身の選手の出場は、1992年のバルセロナオリンピックまでさかのぼることになります。東出雲町出身の田辺仁一さんがフェンシングで出場されました。日本とリオデジャネイロとの時差は12時間。早朝に観戦することが多く、睡眠不足に悩まされることになりそうです。



新松江市総合体育館

ところで、今年の夏は高校総体が中国地方で開催されます。松江市では8月にテニス競技と新体操競技が開催されます。ぜひ地元選手に出場してほしいものです。そして、松江市で活躍した高校生が将来オリンピックで活躍できたらうれしいですね。高校総体は、「目標だ

が通過点、目指せオリンピック」で応援したいものです。また、スポーツといえばスタジアムも話題を集めます。東京オリンピックで使用する新国立競技場建設にあたっての騒動は記憶に新しいところです。リオデジャネイロでも施設建設の遅れがよく話題にされています。松江市でも総合体育館が新しくなり、今年3月には竣工予定です。この施設で新体操競技が開催されますが、新しい施設で思い切り演技してほしいものです。

32回目のオリンピックは、2020年東京で開催されることが決まっています。オリンピックの事前キャンプ地として松江が選ばれるかもしれませんね。国際文化観光都市松江市に、スポーツを通してたくさんの人々にお越しいただければ嬉しいことです。

東出雲図書館長 金森 茂巳

## オリンピック～東京大会～

**第12回大会** 1940年に開かれる予定でしたが、戦争のため中止になりました。



**第18回大会** 1964年、アジアの国で初めて開かれた大会で、10月10日から24日まで行われました。93の国・地域が参加し、日本選手団も金16、銀5、銅8個のメダルを獲得する活躍でした。また、世界中に人工衛星による中継も初めて行われました。

**第32回大会** 2020年、夏季オリンピックとパラリンピックの開催が東京に決まりました。56年ぶり2度目になります。オリンピックは7月24日から8月9日まで、パラリンピックは8月25日から9月6日まで行われる予定で、日本選手団の活躍が期待されます。

### 参考にした資料

- 「島根県体育史」 島根県体育協会 編集発行
- 「島根の人物ものがたり」 島根県国語教育研究会 編著
- 「松江人物ものがたり」 松江市教育委員会 発行
- 「島根スポーツ100年」 山陰中央新報社 編集発行
- 「岸清一博士顕彰誌」 雑賀小学校体育館・中学校建設実行委員会 編集
- 「島根県歴史人物事典」 山陰中央新報社 発行
- 「オリンピックまるわかり事典」 PHP研究所 編集発行
- 「オリンピック絵事典」 PHP研究所 編集発行
- 「晩の超特急 吉岡隆徳ものがたり」 辺見じゅん 著 松江今井書店 発行
- 「錦織圭 フィフティーン・ラブ」 神 仁司 著 実業之日本社 発行
- など



松江市立図書館だより  
編集・発行／松江市立中央図書館  
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44  
☎ (0852) 27-3220  
**2016年3月発行**  
<https://www.lib-citymatsue.jp/>  
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp

## 岸清一博士の言葉

どんなしごとでもよい。日本一をめざして  
ひたすらどりよくしなさい。  
からだをきたえ、心をみがきなさい。  
しっかりとべんきょうしなさい。

(松江に帰省した際に、母校の子どもたちに語った言葉)  
「島根の人物ものがたり」より



「岸清一傳」より



「島根県体育史」より

### 内容

- 表紙 岸清一博士（松江市名誉市民）  
昭和39年、東京オリンピック聖火リレー（松江大橋）
- 見開き 近代スポーツの父岸清一博士とオリンピックで活躍した郷土のヒーローたち
- 裏表紙 郷土の葉「オリンピックと松江」  
オリンピック～東京大会～

近代スポーツの父 岸清一博士と

# オリンピックで活躍した 郷土のヒーローたち

まし せいいち  
**岸 清一 博士**

1867年（慶応3）～1933年（昭和8）

松江市雑賀町に生まれ、雑賀小学校、松江中学を卒業し翌年に上京し、明治22年に東京帝国大学法科大学卒業、翌年弁護士になりました。

中学の頃は剣道、大学の頃は漕艇に熱中し法科三羽鳥の一人と称されました。

大正10年には、大日本体育協会の第2代会長となり、また、大正13年に国際オリンピック委員会委員に任命されました。岸清一博士は、3回のオリンピックに選手団を率いて参加し、昭和7年、第10回ロサンゼルス大会では、金7個、銀7個、銅4個の成果を取めました。その年、天皇陛下の御前で国際オリンピック大会について進講。第12回東京大会の誘致に力を注ぎましたが、実現を見ることなく亡くなりました。



「暁の超特急 吉岡隆徳ものがたり」松江今井書店発行

## 岸清一先生像

私財を投じ郷土のスポーツ振興に多大な貢献を果たされた岸清一博士をたたえ、昭和10年島根県庁前に銅像が建立されました。この銅像は戦時中になくなりましたが、昭和39年念願であった東京オリンピック開催を記念して再建されました。

県庁前（高さ3.6メートル）

## 岸記念賞

銅像再建を記念し、県体協から各競技団体に岸記念楯が贈られました。島根県中学校体育連盟は、岸記念賞制度を設け、各年度における最もよい成績を取めた学校に対して、この記念楯を贈り表彰することにしました。その後、小規模校で年間を通じて優秀な成績をあげた学校に対して敢闘賞を授与することにし、生徒・指導者のスポーツ熱高揚に役立てられています。

### 平成27年度受賞校

#### 岸記念賞

出雲市立第一中学校  
（2年連続7回目）

#### 敢闘賞

開星中学校  
（3年連続3回目）



よしおか たかよし  
**吉岡 隆徳** 湖陵町：現出雲市

第10回ロサンゼルス大会  
陸上：100メートル6位、400メートルリレー5位、200メートル出場  
第11回ベルリン大会  
陸上：100メートル、400メートルリレー出場

たけもと まさお  
**竹本 正男** 浜田市

第15回ヘルシンキ大会  
体操：団体総合5位、個人跳馬2位、つり輪6位  
第16回メルボルン大会  
体操：団体総合2位、個人鉄棒・平行棒・つり輪各3位、跳馬6位、個人総合4位  
第17回ローマ大会  
体操：団体総合1位、個人鉄棒2位、平行棒6位、個人総合4位

うえだ せいいち  
**上田 精一** 平田市：現出雲市

第8回パリ大会  
陸上：五種競技（走り幅跳び・やりなげ・200メートル・円盤なげ・1500メートル）に出場



「島根県体育史」より



竹本（左）・上田（右）  
「島根県体育史」より

うえさこ ただお  
**上迫 忠夫** 浜田市

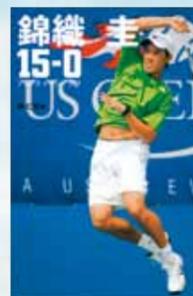
第15回ヘルシンキ大会  
体操：団体総合5位、個人徒手2位、跳馬3位



つだ せいいちろう  
**津田 晴一郎** 松江市

第9回アムステルダム大会  
陸上：マラソン6位入賞  
第10回ロサンゼルス大会  
陸上：マラソン5位入賞

（右）「島根県体育史」より



にしこり けい  
**錦織 圭** 松江市

第29回北京大会  
テニス出場  
第30回ロンドン大会  
テニス5位

「錦織圭 フィフティーン・ラブ」  
実業之日本社発行

## 岸記念体育会館

岸清一博士の遺志により、日本スポーツ界発展のために岸家から多額な基金が寄せられ、東京お茶の水に建設（昭和16年完成）されました。後に東京オリンピック大会の開催にあたり、現在の渋谷区に移され、岸記念体育会館として我が国のスポーツ振興に大きな役割を果たしています。



「岸清一博士顕彰誌」より

## オリンピック・郷土の出場選手

1920年（大正9）	第7回アントワープ大会	陸上：佐野幸之助
1924年（大正13）	第8回パリ大会	陸上：上田精一
1928年（昭和3）	第9回アムステルダム大会	陸上：津田晴一郎
1932年（昭和7）	第10回ロサンゼルス大会	陸上：吉岡隆徳、津田晴一郎
1936年（昭和11）	第11回ベルリン大会	陸上：吉岡隆徳、福田（森山）時雄
1952年（昭和27）	第15回ヘルシンキ大会	体操：竹本正男、上迫忠夫
1956年（昭和31）	第16回メルボルン大会	体操：竹本正男、陸上：潮 喬平
1960年（昭和35）	第17回ローマ大会	体操：竹本正男、水泳：福井 誠
1964年（昭和39）	第18回東京大会	水泳：福井 誠、岡部幸明
1968年（昭和43）	第19回メキシコシティ大会	近代5種競技：福井敏男
1972年（昭和47）	第20回ミュンヘン大会	バレーボール：塩川（古橋）美知子
1976年（昭和51）	第21回モントリオール大会	水泳：香川進介
1984年（昭和59）	第23回ロサンゼルス大会	水泳：坂本 弘、フェンシングフルーレ：金津義彦
1988年（昭和63）	第24回ソウル大会	フェンシングフルーレ：金津義彦
1992年（平成4）	第25回バルセロナ大会	フェンシングエペ：田部仁一
1996年（平成8）	第26回アトランタ大会	陸上：土江寛裕、レスリンググレコローマンスタイル：嘉戸 洋
1998年（平成10）	第18回冬季長野大会	ボブスレー4人乗り：中村康夫
2004年（平成16）	第28回アテネ大会	陸上：土江寛裕
2008年（平成20）	第29回北京大会	テニス：錦織 圭、野球：和田 毅、ホッケー：山本由佳理・小櫻千奈美
2010年（平成22）	第21回冬季バンクーバー大会	ボブスレー女子2人乗り：浅津このみ
2012年（平成24）	第30回ロンドン大会	テニス：錦織 圭、ホッケー：山本由佳理、大塚志穂

